

単位数	2単位	学年	1学年
学科・学年・コース・組		3学期制	普通科 1年1～7組
使用教科書		高校生の美術1 (日本文教)	

平成31年度 シラバス 美術Ⅰ

美術Ⅰ

1. ねらい・目標

美術の幅広い活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

2. 授業の進め方や学習方法

毎單元ごとに、目標やねらい、取り組み方法等の説明をする。与えられた課題を、自己の表現で試行錯誤しながら、計画的に取り組んでいく。作品発表の場を設け、他者の作品理解やコミュニケーションを図る。また、わからないことや悩んでいること等は机間巡視で、質問しやすい環境を作り、問題解決のためのアドバイスをする。提出期限には全員が仕上げられることを目標に指導していく。

3. 副教材・参考書

1. 副教材 なし
2. 参考書 なし

4. 評価

(下記の4つの観点から評価した各学期の成績を統合し、年間の学習成績とする。)

○関心・意欲・態度

美術表現・鑑賞に関心を持っているか。

学習意欲があり、主体的に制作に取り組む態度を持っているか。

○表現の工夫

表現のために材料の選択や技法の用い方を工夫しているか。

自然や物事の見方、またテーマの把握に対して芸術的感受性を働かせているか。

○表現の技能

作品を造りだすために必要な材料の扱い方や、表現方法を身に付けているか。

○鑑賞の能力

美術作品を感受し、理解しようとしているか。

美術作品について、特徴や自分の考えを述べることができるか。

5. その他

美術の授業は、作家の育成を目的とするものではありません。美術の制作や鑑賞の活動を通して、人生を豊かにしていくためのものの見方や捉え方、自己や他者を柔軟に理解していくための価値観の育成などを目的としています。

美術の授業では、【素材の特性を観察し、使い方の工夫や配慮をすること】【自分の発想や考えを具現化していくこと】【粘り強く作品に向き合い制作すること】【自分の感性、他者の感性、多様な価値観を知り、理解していくこと】など、社会に出て、自己実現していくための大切な素地となる体験が学びとなります。

好き・嫌い、得意・不得意などあると思いますが、今しかない思春期の感性で、情操を豊かにしていった欲しいと願っています。

6. 授業計画

学期	月	時	単 元	学 習 内 容	留 意 点 等
1 学期	4	4	●オリエンテーション ●鉛筆デッサン (基本形体)	・美術の学習について。 ・鉛筆の持ち方による使い分けを確認し、5つのトーンを描く。	・美術の授業の約束事を確認する。 ・寝かせる・立てる持つ位置による違いを意識させる。
	5	8	●植物を描く(透明水彩)	・植物の美しさや生命力を感じ取り、表現する。	・水彩のにじみや重なり、鮮やかな色彩を生かし、瑞々しく表現する喜びを味わわせる。
	6 7	12	●美の秩序	・色彩、構成、材料や用具の生かし方等の技能を修得する。	・基本的なものの見方や表現法を学び、絵具の特徴と使用法を学ばせる。
2 学期	9 10	14	●ステンシル マイバックデザイン 生活を彩る模様	・デザインしたオリジナルの模様を、ステンシルで版の作成をし、マイバックを制作する。	・版の構造を理解させ、特性を生かしたデザインを考案させる。
	11	12	●暮らしの中の「使う」デザイン	・手びねりで陶芸作品を制作する。	・土の特性を理解させ、使うことを想定した作品を意識させる。
	12	2	●模刻による鑑賞 (アレクサンダー・カルダー)	・針金彫刻作品を写真から模倣制作しながら鑑賞する。	・模倣制作を通して、作者の構想・留意点など、イメージを具体化させる。
3 学期	1	6	●模写による鑑賞 (伊藤若冲)	・模写をしながら若冲について学び、鑑賞する。	・鑑賞を通して作者の生き方・在り方、自己を見つける機会を与える。
		2	●芸術学習発表会	・今年度制作した作品を展示し、鑑賞しあう。	・展示を通して客観的に見直すことにより、自己の活動を振り返らせる。
	2	8	●卒業式壁画共同制作	・ちぎり絵の並置混合による壁画を制作する。	・卒業生へのはなむけの気持ちを意識させ、共同制作を進めさせる。
	3	2	●ドローイングアニメーション	・手描きでアニメーション制作をする。	・動きや変化の表現を工夫させる。